

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	ささえあいコミュニティ 生活協同組合新潟	代表者	高見 優	法人・ 事業所 の特徴	事業所では利用者さまが生き甲斐をもって生活できるように取り組みます。 地域の方とも多くの時間を共有し豊富な経験や知識を教えていただきながら、利用者様と共に、よき隣人としてお付き合いができるような関係を目指します。いまだ蔓延して 新型コロナウィルス、インフルエンザ等の感染予防にも努めてまいります。
事業所名	ささえ愛まえかわ	管理者	伊藤 健一		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	1人	2人	1人	1人	1人	人	2人	人	9人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する 取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価 の確認	・自己評価の問題事項を全体会議に組みこんで事業所の向上に努める。 ・研修、セミナー、地域イベント、会議等に職員全員で関わっていく。	・問題事項を全体会議に組み込みましたが、人員不足でセミナー、地域会議、地域行事などには職員を参加させる事ができませんでした。	・他の業種に比べて求人倍率が高くなかなか応募もないと聞いた。 ・最近、地域行事も少なくなった。	・長岡介護専門学校の実習生を受け入れを申込んで新卒採用を目指す。 ・職員待遇を改善して求人内容が魅力があるようにする。
B. 事業所の しつらえ・環境	・昨年は広報誌を発行できなかつたので引き続き作成して配布できる体制を構築する。アンケート継続	・広報誌を発行出来ました。 ・アンケートも継続出来ました。	・広報誌を回覧板で回して事業所をアピールしたらどうか。 ・食事は楽しみだからアンケートの項目に加えたらどうか。	・広報誌の作成を工夫して地域の方々にも見ていただく。 ・アンケートに食事の項目を設ける。
C. 事業所と地域の かかわり	・感染予防をしながら地域イベントに参加していく。(イベント後は待機期間をもうけ検査後に復職する)	・職員の補充もままならず職員の病欠やコロナ、インフルエンザなどの感染もあり、事業所を運営するのが精一杯でした。	・感染症対策で事業所主体の行事はおこなわくなかった。 ・ボランティアの受け入れは再開している。(1名)	・近隣のボランティアさんを更に受け入れる。 ・トモシアにレクボランティアさんの受け入れを依頼する。
D. 地域に出向いて 本人の暮らしを 支える取組み	・作品展など人と接触しないイベントに参加していただく ・事業所を利用していない方も包括支援センターと連携してサポート体制を作る。	・作品展は参加しませんでしたが季節行事は利用者様に参加していただきました。	・学校行事も少なくなっている。 (前川小は文化祭ではなく、マラソン大会の観戦ぐらい。) ・トモシア祭はどうか	・地域行事を探して利用者様に参加していただく。
E. 運営推進会議を 活かした取組み	・リアル会議、ズーム会議、書面会議と工夫して開催する。会議に出た意見、指摘を事業所に反映する。	・今期はリアル会議で開催いたしました。会議で頂いた意見や指摘を事業所に反映することに努めました。	・会議で話し合われたことを取り入れているのは理解している。	・今後も運営推進会議に提案された内容を積極的に取り入れていく。
F. 事業所の 防災・災害対策	・緊急時に対応できるように設備の点検、備蓄を怠らない。 ・地域、自治体の研修、セミナーに必ず参加する。	・緊急時に対応できるように設備の点検をして備蓄のアクションを増やしました。 ・地域、自治体の研修、セミナーには一部しか参加できませんでした。	・来季に向けて運営規定を見直したらどうか。 ・災害時の安否確認はどうしている ・地域要支援者の対応はどうか。	・介護保険で令和5年度末までの経過措置項目を運営規定に反映させる。 ・近所の地域支援者の把握に努める。